

第 60 期
年 次 報 告 書

(2019年4月1日から)
(2020年3月31日まで)

fligan

愛眼株式会社

証券コード 9854

株主の皆様へ

株主の皆様には、日ごろより格別のご支援を賜り誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2020年3月31日をもって第60期事業年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善等を背景に総じて堅調に推移しましたが、海外の政治・経済情勢の不透明感や新型コロナウイルス感染症の感染拡大等により世界的な経済活動の停滞が懸念され始めております。国内においては、消費増税の影響は限定的であったものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、個人消費の減少、金融資本市場の変動や企業収益の悪化等の影響が生じております。

このような状況のもと、当社グループは、お客様からの支持・信頼の獲得に焦点を当てた営業戦略と経営資源の効率的な活用を進め、収益基盤の強化に取り組んでまいりました。当連結会計年度における経営成績は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が顕著に出始め、3月には販売が落ち込んだため、眼鏡小売事業の既存店売上が前期比で3.8%下回り、売上高は15,429百万円（前期比4.9%減）となり、売上総利益率は、主に価格施策や品種別の売上構成比の変化の影響で0.3ポイント上昇しました。経費面では、新店開発、自社物件の店舗の建て替えや大型改装等の経費が嵩む要因があったものの、経費コントロールの徹底を図り、広告宣伝費、人件費、賃料などの圧縮に努めたことで、販売費及び一般管理費は10,636百万円（前期比3.1%減）となりましたが、売上高が伸び悩んだことで売上高販管費率は1.3ポイント上昇しました。

この結果、営業利益は52百万円（前期比76.8%減）、経常利益は138百万円（前期比55.1%減）となりました。また、特別損失として減損損失59百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する当期純損失は12百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純利益165百万円）となりました。

当社グループにおける事業セグメントごとの状況は次のとおりです。

【眼鏡小売事業】

当社グループの中核事業である国内眼鏡小売事業につきましては、眼鏡専門店として永年培ってきた快適で安心な視力と聴力の補正技術、高い専門性を要する商品提案力と接客・サービス力の全てが結集した「愛眼ブランド」を進化・発展させることで競争優位性の強化を図ってまいりました。

商品につきましては、テーマとする「目の健康」を基軸として、幅広い年齢層のお客様の多岐にわたるニーズに対応した快適で機能的な高付加価値商品を開発することで、品質・価格の両面で競争力がありお客様満足度の向上に繋げております。マーケティング面では、安心で買い得な商品の品揃えを充実させ、マーチャンダイジングによる販売促進と各種広告媒体を通じた情報発信に努めてまいりました。また、無料視力チェックでお客様自身やご家族の視力変化に気づき眼

科受診など早期の対応に繋げていただくことを目的とした「LOVE EYES WEEKキャンペーン」を展開するとともに、お客様の利便性向上のため、全国の店舗でスマホ決済「PayPay」「LINE Pay」の取り扱いを開始いたしました。

売上高につきましては、主に競争激化による低価格帯メガネの販売数の減少、日照不足の日が増えるなど天候不順によるサングラスの販売の不振、消費税後の反動などの影響に加え、年度末には新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が顕在化したことから販売が振るわず、前期比で減収となりました。

店舗につきましては、3店舗を新規に出店し、5店舗を閉店いたしました。また、1店舗で店舗建て替えを行い、13店舗で既存店の活性化改装を実施いたしました。

この結果、眼鏡小売事業における売上高は14,694百万円（前期比5.0%減）、セグメント利益133百万円（前期比57.6%減）となりました。

【眼鏡卸売事業】

眼鏡卸売事業につきましては、取引先に対する新商品の投入や販売支援に努めるとともに、新規取引先の開拓に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は457百万円（前期比2.2%減）となり、セグメント利益は5百万円（前期比197.7%増）となりました。

【写真館事業】

愛写館3店舗を営む写真館事業につきましては、豊富な撮影メニューと衣装レンタルによる集客に努めてまいりましたが、競争激化に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって卒業記念写真や袴レンタルをご予約いただいたお客様のキャンセルが出るなど、厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は128百万円（前期比15.4%減）、セグメント損失は50百万円（前期はセグメント損失44百万円）となりました。

【海外眼鏡販売事業】

海外眼鏡販売事業につきましては、中国での競争環境が引き続き厳しい状況にあるなか、愛眼のPB商品やメイド・イン・ジャパン商品の品揃えの強化による集客力アップに努め、採算面の改善に取り組んでまいりました。

この結果、売上高は148百万円（前期比1.1%増）、セグメント損失は9百万円（前期はセグメント損失13百万円）となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご厚情を賜りますよう心からお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長 下 條 三千夫

企業集団の財産及び損益の状況

| 区 分 | 第57期 (2017年3月期) | 第58期 (2018年3月期) | 第59期 (2019年3月期) | 第60期 (当連結会計年度) (2020年3月期) |
|--|--------------------|--------------------|--------------------|---------------------------------|
| 売 上 高(百万円) | 15,957 | 16,344 | 16,231 | 15,429 |
| 経 常 利 益(百万円) | 11 | 317 | 307 | 138 |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益又は 親会社株主に帰属する 当期純損失(△) (百万円) | △390 | 181 | 165 | △12 |
| 1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失(△) (円) | △20.11 | 9.34 | 8.50 | △0.64 |
| 総 資 産(百万円) | 16,773 | 16,849 | 16,686 | 15,967 |
| 純 資 産(百万円) | 13,991 | 14,171 | 14,223 | 14,089 |
| 1株当たり純資産額(円) | 720.88 | 730.18 | 732.86 | 725.97 |

株式の状況 (2020年3月31日現在)

- (1) 発行可能株式総数 60,000,000株
- (2) 発行済株式の総数 21,076,154株
(自己株式1,668,365株を含む)
- (3) 株 主 数 23,253名
- (4) 大 株 主 (上位10名)

| 株 主 名 | 持 株 数 | 持 株 比 率 |
|--|----------|---------|
| 有 限 会 社 佐 々 興 産 | 2,138 千株 | 11.02 % |
| 愛 眼 共 栄 会 | 870 | 4.49 |
| 愛 眼 従 業 員 持 株 会 | 802 | 4.13 |
| 日 本 マ ス タ ー ト ラ ス ト 信 託 銀 行 株 式 会 社 (信 託 口) | 626 | 3.23 |
| 佐 々 栄 治 | 592 | 3.05 |
| 下 條 三 千 夫 | 495 | 2.55 |
| 佐 々 千 恵 子 | 442 | 2.28 |
| 下 條 謙 二 | 401 | 2.07 |
| 佐 々 善 二 郎 | 375 | 1.94 |
| 下 條 豊 彦 | 322 | 1.66 |

(注) 持株比率は、自己株式(1,668,365株)を控除して計算しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前 期 (2018. 4. 1～2019. 3. 31) | 当 期 (2019. 4. 1～2020. 3. 31) |
|-------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 売上高 | 16,231 | 15,429 |
| 売上原価 | 5,029 | 4,740 |
| 売上総利益 | 11,202 | 10,688 |
| 販売費及び一般管理費 | 10,977 | 10,636 |
| 営業利益 | 224 | 52 |
| 営業外収益 | 154 | 162 |
| 営業外費用 | 71 | 76 |
| 経常利益 | 307 | 138 |
| 特別利益 | 9 | 1 |
| 特別損失 | 61 | 61 |
| 税金等調整前当期純利益 | 255 | 77 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 91 | 91 |
| 法人税等調整額 | △1 | △1 |
| 法人税等合計 | 90 | 90 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | 165 | △12 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) | 165 | △12 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| 科 目 | 前 期 (2018. 4. 1～2019. 3. 31) | 当 期 (2019. 4. 1～2020. 3. 31) |
|---------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 391 | 153 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | 199 | △7 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △176 | △177 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △0 | △0 |
| 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | 413 | △31 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 2,249 | 2,662 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,662 | 2,631 |

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

会社の概況 (2020年3月31日現在)

| | |
|---------|---|
| 商号 | 愛眼株式会社 |
| 本社設立 | 大阪市天王寺区大道四丁目9番12号 1961年1月11日 |
| 資本金 | 5,478百万円 |
| 主要な事業内容 | 当社グループは、眼鏡・サングラスその他関連商品を取り扱う眼鏡専門店チェーンと写真館を展開しております。 |
| 従業員数 | 717名 (ほか平均臨時従業員数418名) |
| 店舗数 | 眼鏡店 228店舗 写真館 3店舗 |
| 連結子会社 | 2社 |

役員 (2020年6月26日現在)

| | |
|---------|-------|
| 取締役会長 | 佐々栄治 |
| 代表取締役社長 | 下條三千夫 |
| 取締役 | 菅野忠司 |
| 取締役 | 下條謙二 |
| 取締役 | 佐々昌俊 |
| 取締役 | 森重洋一 |
| 取締役 | 山田吉隆 |
| 常勤監査役 | 叶雅文 |
| 監査役 | 吉岡一彦 |
| 監査役 | 明石敬子 |

- (注) 1. 森重洋一及び山田吉隆の両氏は、社外取締役であります。
2. 吉岡一彦及び明石敬子の両氏は、社外監査役であります。

株主優待

3月31日及び9月30日現在、当社の株式を次のとおりご所有の株主様に対し、株主優待割引券を贈呈します。

| | | |
|-------|------------------|----------|
| [メガネ] | ・100株以上500株未満ご所有 | 30%割引券1枚 |
| | ・500株以上ご所有 | 30%割引券2枚 |
| | (但し、特別限定品は20%割引) | |
| [補聴器] | ・100株以上ご所有 | 10%割引券1枚 |
| | (但し、特別限定品は除く) | |

株 主 メ モ

| | |
|---------------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 毎年6月開催 |
| 基準日 | (1) 定時株主総会・期末配当 3月31日 (2) 中間配当 9月30日 その他必要あるときは、あらかじめ公告して基準日を定めます。 |
| 単元株式数 | 100株 |
| 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 |
| 株主名簿管理人事務取扱場所 (郵便物送付先) | 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 |
| (電話照会先) | ☎ 0120-782-031 |
| (インターネットホームページURL) | https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html |
| 公告の方法 | 電子公告 但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行う。 |
| 上場証券取引所 | 東京 市場第一部 |

<ご注意>

【株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用していなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページアドレス <http://www.aigan.co.jp>